

取り組み紹介書

施設 淡路栄光園	職場 <u>入居サービス課</u> 氏名 <u>佐久間 大知</u> (団体の場合は団体名 <u>淡路栄光園 入居サービス課</u>)
-------------	---

【タイトル】 コロナ禍における、リモートを活用した入居者の行事企画と実践。
【課題】 今年度、コロナ禍による影響で、家族面会や年間の定例行事の制限や自粛となり、入居者の楽しみの機会が減少。単調で刺激の少ない毎日の生活の中で、入居者の笑顔が減り、認知・精神機能の低下も懸念されることが課題となっていた。
【目的】 コロナ感染症予防を図りつつ、入居者の笑顔や楽しみの機会につながる新しい行事を考え実践する。
【方法】 ①実行メンバー：入居サービス課の介護職員（レク係）及び相談員 ②使用機器：リモート可能な PC、プロジェクター、映写用幕、業務用スピーカー （いずれも既存備品を活用） ③開催内容：リモートによるオンラインライブコンサートの映写（昼間） 花火大会動画の映写（夜間）、地元祭り動画の映写（昼間） 各 30 分～60 分（いずれも無償） ④準備内容：入居フロアでの機器の設置。感染リスクに配慮した入居者の座席設定 昼間、夜間実施時の職員勤務調整 ⑤その他：実施内容を毎月定例発行の家族会通信に掲載し、家族に報告
【結果・効果】 各開催行事に 10～30 名の入居者が参加。映像や音を中心とした内容を選択したこと、暗所による他の視覚刺激の低減、プロジェクターによる大画面、業務用スピーカーにより、視聴覚及び認知機能に障害がある入居者にとって想定以上に解りやすい内容となった。普段、落ち着きのない認知症の利用者も見入っておられ、多くの入居者で手拍子を打ったり、映写終了を惜しむ声が聞かれるなど利用者の反応は良好であった。また家族会通信を通じ、入居者の楽しげな日常を知ってもらえる機会にもなった。
【事業団内外の表彰実績（表彰されている場合）】 ・なし。

※人命救助などの場合は添付の必要はありません。